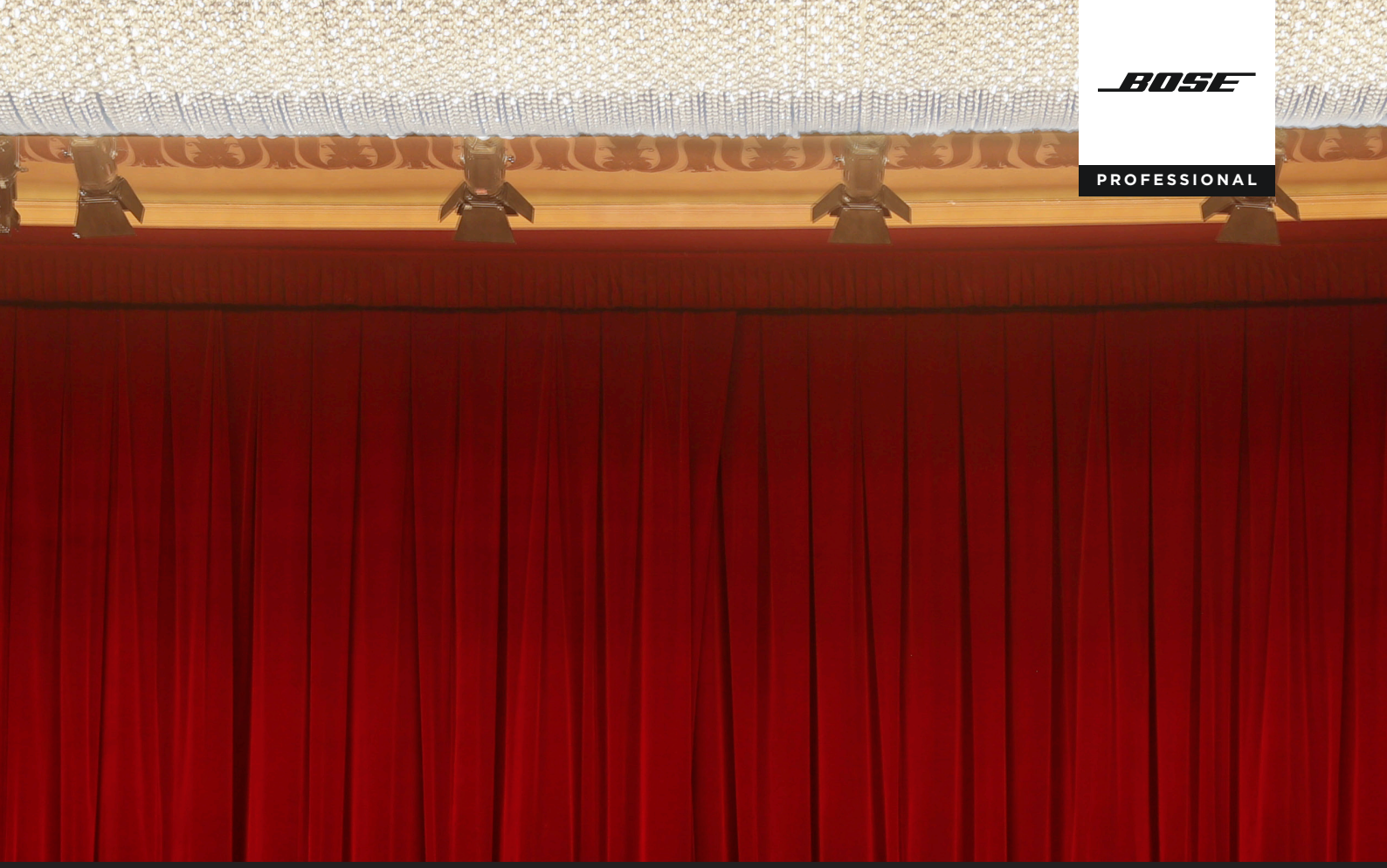


導入事例 – 劇場 | **テアトロ・マンゾーニ**

鮮やかなサウンドで楽しむ、テアトロ・マンゾーニの時代を超越した美しさ

1870年に設立され、イタリアの詩人、作家、そして哲学者であったアレッサンドロ・マンゾーニにちなんで名付けられたテアトロ・マンゾーニは、イタリア有数の劇場であり、芸術スチュワードシップの庇護を受けています。この劇場は、ミラノの中央にあるファッション街の中心地、モンテ・ナポレオーネ通りやスカラ広場からもさほど離れていない場所に位置し、第二次世界大戦に爆撃を受けて破壊された後、1950年に再建されました。

広大なアトリウムスペースやエレガントなロビー、838席のシアタールームには、新古典主義の画家、アキレ・フニーの華麗なフレスコ画が描かれ、石工のレオン・ロディの彫刻が置かれています。

テアトロ・マンゾーニは、よりユニークで豊かな体験を提供する一方で、有名な劇場の歴史ある外観を損なうことのない、その名声に相応しいオーディオのアップグレードを必要としていました。この目標を達成するため、オーディオシステムのリノベーションには、Bose Professionalのパートナー、Techlit社が選ばれました。

歴史あるデザインを妨げない最新のリノベーションを実現

このときの課題は、観客が劇場のエントランスに入場した瞬間からシアタールームへと進むまで、一貫した、優れたオーディオ体験を提供する一方で、スペースの歴史ある外観を妨げないシステムを設置することでした。

Techlit社は、建物のエントランスやバー、ロビーに内部オーディオ配信ソリューションを構築しました。このソリューションにより、音楽やクリアなアナウンスにより、求められる雰囲気を醸成しながら、そういった音楽やアナウンスを特定の空間に限定することができます。高品質な臨場感あふれる体験を提供するため、建物の建築にシームレスに溶け込み、必要に応じて利用するレンタルのサウンドシステムとは異なる独立した、最新のシステムを必要としていました。

これはシンプルであるものの複雑な依頼でした。Techlit社は、Bose Professionalの卓越した幅広いソリューションを活用することで、さまざまなスペースに理想的なソリューションを構築しました。

Techlit

劇場の体験を高める、歴史と最新技術が融合した独自のシステム

エントランスホールでは、2台のRoomMatch Utility RMU105スピーカーが階段に見えないように配置されており、観客を劇場へ迎え入れ、バーでの交流へと導きます。ここでは、1台のPanaray MA12EXスピーカーが空間を演出します。

ロビーでは、さらに4台のRoomMatch RMU105スピーカーが、フレスコ画に溶け込むように配置されています。ここでは、大理石が生み出す強い部屋の残響を、プロセッサーのイコライゼーションを使用して解決することで、音響的に課題のあるスペースを、プレスカンファレンスやバックグラウンドミュージックに最適な空間へと変革させました。

この最新のオーディオシステムはPowerMatch PM4500Nパワーアンプで制御されます。配置されたすべてのスピーカーで、音楽を再生するだけでなく、メッセージのアナウンスにも最適なクリアな音声を提供します。

入念に設計された、音楽で満たされた通路を通ってメインシアタールームに進むと、メインのオーディオソリューションを体験できます。このソリューションは、それぞれ3台のPanaray MSA12Xパワードスピーカーからなる、左右2つのスタックで構成され、デュアルビームモードが設定されています。各ビームは個別に調整され、劇場の形状に合わせて最適化されており、1階席からギャラリー席まで、バルコニー席に反射しない、一貫したサウンドを実現します。

Bose Professional独自のアーティキュレイテッドアレイトランスデューサーが160°の水平カバレージを提供するため、フロントフィルはわずか2台のRoomMatch Utility RMU105スピーカーで役割を果たします。さらに、コンパクトなキャビネットで深みのある低音を提供する2台のMB210サブウーファーでこのシアタールームのスピーカーソリューションが完成します。

シアターの体験はすべて、ControlSpace EX-1280CとControlSpace ESP-1240ADの2つのプロセッサーで14入力4出力の要求に対応しています。ControlSpace EX-1280Cと、Panarayのビームカバレージおよびシステムプリセットを組み合わせることで、マイクとビデオプロジェクションをサポートし、ロビーのスピーカーからマイク、外部のミキサーまで、幅広い入力を管理しています。

ControlSpace ESP-1240Aプロセッサーは、入出力パッチに接続されています。同じラックに収められたControlSpace CC-64コントローラーで音量が管理され、PowerMatch PM8500Nアンプで、パワードの2つのPanarayスタックを除くすべてのスピーカーのサウンドが駆動されています。

記憶に残る、唯一無二の劇場体験

ミニマルなスピーカーデザインと極めて正確なサウンドカバレージにより、Bose Professionalのソリューションは歴史ある劇場に最適なオーディオシステムでした。これにより、空間の外観を引き立て、劇場スタッフにとって音響管理をシンプルにすることができました。

「マンゾーニのような歴史ある劇場で最も優先すべき点は、劇場の建築になじみ、外観を妨げることがないようにすることです。Panaray MSA12Xスピーカーのデザインで、設置されているスピーカーにほとんど気付かないソリューションを構築することができました」と、Techlit社のプロジェクトマネージャー、アンドレア・ディ・ニコラ氏は述べています。

現在劇場には、コンパクトなサイズで1階席やバルコニー席への正確なカバレージを提供し、卓越したボーカルの明瞭性と一貫した音色を実現する、スピーカーが設置されていることにほとんど気付かないオーディオシステムを備えられています。より大型のシステムが必要になった場合には、外部のレンタルサービスにより、常設スピーカーを使用することなく追加のオーディオコンポーネントを簡単に統合することができ、極めて柔軟なシステム運用が可能です。

「この新しいオーディオシステムなら、ほとんどのイベントで外部のレンタルサービスを利用する必要がありません。Bose Professionalのソリューションは、コンパクトなサイズで優れたカバレージを実現し、サウンド体験をさらに高いレベルへと引き上げてくれるのです」と、テアトロ・マンゾーニのジェネラルマネージャー、アレッサンドロ・アルノーネ氏は述べています。

システムのコンポーネント

シアタールーム

Panaray MSA12Xスピーカー

RoomMatch Utility RMU105スピーカー

MB210サブウーファー

ControlSpace EX-1280Cサウンドプロセッサー

ControlSpace ESP-1240ADサウンドプロセッサー

ControlSpace CC-64コントロールセンター

PowerMatch PM8500Nパワーアンプ

Panaray MA12EXスピーカー

エントランスホール

RoomMatch Utility RMU105スピーカー

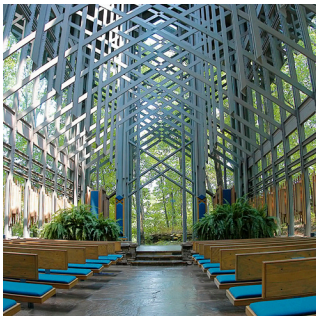
バー

Panaray MA12EXスピーカー

ロビー

RoomMatch Utility RMU105スピーカー

PowerMatch PM4500Nパワーアンプ



Bose Professionalは、劇場、芸術センター、礼拝施設、競技場、飲食店、学校、小売店舗、宿泊施設やオフィスビルなど、世界中の様々な市場に高品質なサウンドを提供しています。

プロオーディオ業界のお客様にとって、アンプやスピーカーが単なる製品以上のものであることを、私たちは知っています。私たちボーズ製品の先には、お客様のビジネスがあり、お客様の評判があり、暮らしがある。Bose Professionalの製品を購入するということは、世界中のBose Professionalチームによる手厚いサポートを得るということと同意義です。ボーズは、製品の購入は、パートナーシップの始まりだと考えています。

BOSE PROFESSIONAL

BOSEPROFESSIONAL.COM

© 2023 Transom Post OpCo LLC. 07/2020